

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課(2536)
-----	-------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	平岡樹芸センター	所在地	清田区平岡4条3丁目
告示年月日	昭和59年3月31日	面積	29,297㎡
公園種別	特殊公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	平岡樹芸センターの維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	庭木相談所、日本庭園、見本園		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	公募 ----- 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数: 1 ----- 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(講義室)運営(利用料金制度)		
3 評価単位	施設数: 1 ----- 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>当公園の効果的な管理運営を目指して、緑化協会の「理念」と運営方針に掲げる「公益性5つのK」を基とした、以下の『基本方針』を策定した。</p> <p>▼平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。</p> <p>▼関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。</p> <p>▼資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。</p> <p>▼コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、集いの場としての魅力を高める。</p> <p>▼都市における多様な環境圧の下、みどりのオープンスペースとしての存在効果を高める。</p> <p>また、札幌の快適な都市環境を推進する上で、平岡樹芸センターでは以下を重点基本方針として策定した。</p>	<p>当団体は指定管理者として、平岡樹芸センターの管理業務にあたり、現場スタッフの他、事務局スタッフと他公園スタッフによる体制を組み、確実かつ柔軟な業務を行っている。</p> <p>また、公園利用者に不公平感や不快感を与えないために、サービス接遇検定を含む接遇研修の実施や作業時における安全教育等のスタッフ教育に努めている。</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>基本方針を定め、適正に管理運営がなされていると判断します。</p>

- ▼北国の造園技術、技能継承拠点としての価値の向上。
- ▼「歴史的財産」としての価値の向上と保全。
- ▼地域と結びついた相互発展。
- ▼市民協働の推進と環境負荷の低減。

今後の管理運営業務においても、現在までの取り組みを継続し、さらにみどりの発信基地として、利用者へのサービスや維持管理の向上、安心、安全の公園管理運営に努めている。

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

平等利用確保基本方針

年齢や障がいの程度、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い等によって、公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用者には不公平感を抱かせることのないよう、スタッフ教育を徹底し、施設の管理運営を行う。

▼年齢や障害の程度、社会的地位や身分の違い等によって平等利用が妨げられないようスタッフの接遇研修を行い、利用者に対する意識向上を図る。

研修の実施によりスタッフの意識向上を図っており、多くの市民が快適に利用できるよう取り組んでいると判断します。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼環境マネジメントシステムを運用し、今年度は電気使用量を前年度使用量を上回らない目標を設定し、節電に努めた。

(結果: 電気使用量 : 平成28年度比100.2%)

▼事務用品等は、グリーン用品を購入するよう努めた。

▼公園管理スタッフに対し、環境マネジメント研修を年1回(4月に)実施し、環境目的、目標について周知した。

環境マネジメント研修による環境負荷への軽減についてのスタッフ教育に努め、環境意識の啓発を図ることができた。また、節電については、使用量をほぼ前年度並みを維持することができた。

適切に取り組んでいると判断します。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。

▼当初の研修計画に基づき業務に必要な資格取得に取り組んだ。

適切な人員配置、研修、取り組みを行い、スタッフの能力向上に努めることができた。

施設の管理運営に必要な職員が配置されており、適切な組織の確立がなされていると判断します。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

利用者へのサービスや維持管理の向上、安全確保を図る上で、接遇研修等の教育訓練、作業における安全教育を実施した。また、作業前のミーティング等で情報共有を図るために、口頭、文書によりスタッフへの周知をしている。

計画通りスタッフの接遇研修や救急救命研修等を実施し、スタッフのスキルアップを図れた。

教育訓練等によりスタッフの意識向上に努めており、来園者の安全性の確保や快適性の向上に向けて取り組んでいる。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

再委託については、札幌市の承認後、ゴミ収集、機械警備、消防施設点検等を札幌市内の企業に委託し、諸法令・規則の遵守と安全管理等適正な業務遂行に努めている。

実施状況の通り、計画に沿って適正な発注・履行を行っており、問題ない。

適切な管理が実施されていると判断します。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼公園利活用協議会

開催日	協議・報告内容
H29.11.24	平岡公園・平岡樹芸センターの事業報告及びセンターの管理、利用方法等について意見交換を行った。
<協議会メンバー> 周辺町内会会長、周辺中学校校長、まちづくりセンター所長、樹芸ボランティア団体、札幌市公園緑化協会事業課担当課長、平岡公園所長、豊平公園所長、平岡樹芸センターマネージャー、協会職員	

継続して公園利活用協議会を開催し、樹芸センターの活用や利用促進の活性化について、地域の方々と有益な協議・連携を図り、意見交換を実施して公園の管理運営に反映させることができた。

要求水準どおり、運営協議会が開催され、管理運営水準の向上に向けた協議を行っている。また、引き続き地域との信頼関係の構築に努めてください。

▼札幌市との運営協議会

開催日	協議・報告内容
H30.3.12	平岡公園・平岡樹芸センターの事業報告及びセンターの管理、利用方法について意見交換を行った。
<協議会メンバー> 札幌市みどりの管理係長、公園維持係長、担当職員、札幌市公園緑化協会事業課担当課長、百合が原公園技術主査、豊平公園所長、協会職員	

実施状況の通り、協議会を開催し緑のセンターの運営に関わる問題点、園内維持管理や施設、設備の課題について協議できたと捉える。

▼ボランティアとの定例会議

開催回	協議・報告内容
全10回	環境サポーターズ三次郎の会定例会議 (ボランティア活動計画、反省等)
<協議会メンバー> 札幌市公園緑化協会(平岡樹芸センター)、環境サポーターズ三次郎の会	

登録ボランティア「環境サポーターズ三次郎の会」との定例会議を実施することで、活動の計画・実施・反省を行い、公園の価値向上を目指している。

<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。</p> <p>▼団体の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。</p> <p>▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取り組みを行っている。</p>	<p>札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーが集まる営業会議で都度確認し、公園・施設でも周知徹底を図った。不正行為や事故発生未防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等の事故は発生していない。</p>	<p>適切に管理されているものと判断します。</p>
<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼ 要望・苦情等については、内容を正確に把握し、迅速かつ的確に対応した。また、苦情・要望等報告票を作成し、スタッフに周知するとともに協会本部への情報共有を図っている。</p> <p>▼29年度の要望・苦情等件数 要望:12件 苦情:5件 称賛:11件</p>	<p>要望の大半は講習会の内容に関する事で、今後ニーズに応えられるよう検討を重ねる必要がある。苦情は池の水質に関する内容が多く、今後は清掃を強化することで対策を図りたい。称賛のご意見は樹木管理の質、緑の相談及び講習会の説明、日常の接遇に関していただき、励みになるとともにより一層のサービス向上を心掛けたい。</p>	<p>適切に対応されていると判断します。</p>
<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼記録・報告等を計画通りに適切に実施した。</p> <p>▼自己評価を月単位で行い、業務の改善、利用者の増加に努めた。</p> <p>▼アンケート調査を実施し、管理運営の参考としている。</p> <p>▼要望、意見については、公園管理運営等に役立てるため、情報の共有を行っている。</p> <p>▼札幌市の業務等検査にも適切に対応した。</p>	<p>記録・モニタリング・報告・評価を適切に実施し、それによる利用者からの情報を収集、改善、反映を図り、管理運営の向上を目指した。</p>	<p>適切に記録され報告を受けております。</p>

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金810円(平成29年10月1日発効、発行前までは786円)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断を実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 <p>▼安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園・施設のマネージャーが出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、結果をスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</p> <p>▼維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</p> <p>▼ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。</p> <p>▼公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。</p>	<p>公園現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1246 165 1294 197">A</th> <th data-bbox="1294 165 1342 197">B</th> <th data-bbox="1342 165 1390 197">C</th> <th data-bbox="1390 165 1437 197">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1246 197 1437 376"> <p>適切に法令遵守及び雇用環境や職場環境の維持向上に努めているものと判断します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>適切に法令遵守及び雇用環境や職場環境の維持向上に努めているものと判断します。</p>			
			A	B	C	D					
<p>適切に法令遵守及び雇用環境や職場環境の維持向上に努めているものと判断します。</p>											

(3) 施設・設備等の維持管理業務	▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	<p>▼業務の実施にあたり、公園利用者の安全を第一に考え、日常の巡回・点検などによる事故防止対策、緊急時の連絡体制の確立、受付スタッフの接客サービス検定の受講、ボランティアと協働での庭園ガイドを実施するなど、市民サービスの向上を図った。</p> <p>▼管理業務実施にあたり、損害賠償保険は要求水準に適合したものに加入した。</p> <p>▼スタッフ全員、普通救命講習Ⅱ(AED操作含む)の取得を行っており、緊急事態の対応能力向上を図っている。</p>	<p>安全確保、市民サービス向上のため、計画的に業務に取り組むとともに、必要なスタッフ研修、ボランティア研修を実施し、緊急時の体制やスタッフのスキルアップを図り、利用者に求められている対応ができた。</p>	<p>適切に実施されているものと判断します。</p>
	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼公園内の施設、設備については利用者が安心して快適な利用ができるよう、施設・設備の点検等を適切に実施するとともに、長寿命化を図っている。また、消防設備点検や駐車場誘導警備など、直営では対応が困難な業務を外注することで効率化を図れる業務については、第三者へ委託をしている。緑地管理については、概ね計画通りに実施しており、一部芝の張り替えのほか、植物残渣のリサイクルなど、多岐に渡って園内管理を実施している。</p>	<p>毎日の早朝巡回により、利用者及び作業の安全確保を最優先に考慮している。</p> <p>また、樹木管理はボランティアと連携し剪定・緑摘みなどの作業を協働で行いながら、市民目線の評価をいただき管理運営への反映を図ることができた。</p>	<p>適切に取り組まれているものと判断します。</p> <p>また、ボランティアとの連携は地域連携や市民協力の推進を図ることができ評価します。</p>
	<p>▽ 防災</p> <p>▼4月及び5月に、災害緊急時(台風)訓練、防災・避難誘導訓練を実施した。</p>	<p>防災に関わる訓練は、スタッフの雇用開始時に計画通り実施し、未参加スタッフについては、フォローアップ訓練で対応し、スキルの共有を図っている。</p>	<p>適切な対応が実施されていると判断します。</p>

(4)事業の計画・実施業務	▽ 緑化普及啓発事業等		A B C D
			<p>▼園芸講習会等31回開催 参加者478人 (前年度 31回 参加者599人 121人減)</p>
<p>▽ 緑の相談業務</p> <p>▼緑の相談を週2回(水・土、面談と電話にて対応)実施している。 相談件数は976件(前年比210件減)となった。</p>	<p>天候不順や1件当たりの相談時間が長くなることで相談件数が減少したと考えられる。一方、相談窓口の利用者88%は満足のいく相談ができたとアンケートで回答しており、質の高いサービスを提供できていると判断する。</p>	<p>適切に展開できているものと判断します。</p>	
<p>▽ 公園に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>▼登録ボランティア「環境サポーターズ三次郎の会」と連携しイベントを3回、園内ボランティア活動を39回(延べ342人)行った。 ・みどりーむこども夏まつり(355人) ・第9回庭園コンサート(974人) ・まちに灯りをinみどりーむ(91人) ほか、花壇管理・庭園ガイド・園内清掃など</p> <p>▼登録ボランティア「樹木会」と連携し、園内樹木の剪定など緑地管理のボランティア活動を40回(延べ148人)行った。(樹木管理、冬囲いなど)</p>	<p>「環境サポーターズ三次郎の会」と共催で毎年実施している左記イベントは、地域に定着し多くの参加者から好評を得ている。その他、同団体は園内の維持管理作業として、花壇管理や季節に合わせた園内ガイドを実施している。また、造園技術系のボランティアである「樹木会」は安定した活動回数を重ね、個人の技術力を高めることで公園樹木の維持管理にも貢献している。今後も両ボランティアの質の高い活動を支援する。</p>	<p>樹芸センターの特徴を生かした取り組みであると判断します。</p>	

	<p>▽みどりの図書室</p> <p>▼管理事務所図書コーナーでは、園芸・庭づくりに関する文献、寄贈された歴史ある造園書籍、また、平岡樹芸センターの基となった竹澤三次郎氏の遺産ともいえる資料を保存し、閲覧に供した。</p>	<p>図書コーナー利用者は増加しているように感じられる。また、度々訪れる方も見かけるようになり、緑の相談窓口と併せて効果的に利用いただけている。</p>																																							
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="384 544 979 719"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H28実績</th> <th>H29計画</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">貸室</td> <td>件数(件)</td> <td>41</td> <td>40</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>839</td> <td>830</td> <td>960</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>8.6</td> <td>8.5</td> <td>7.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="384 804 979 978"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29計画</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベント</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>学校行事</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>36</td> <td>-</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼公式ホームページの充実について イベントや園内の見頃時期など、利用者のニーズに合わせた情報発信に努めた。</p> <p>▼ボランティアとの協働体制による利用促進 登録ボランティア「環境サポーターズ三次郎の会」と協働でイベントを開催し、公園及びボランティア活動のPRを実施した。</p> <p>▼マスメディアへの情報提供 園内の見頃時期にマスメディアに積極的に情報提供を行った。</p>			H28実績	H29計画	H29実績	貸室	件数(件)	41	40	43	人数(人)	839	830	960	稼働率(%)	8.6	8.5	7.1		H28実績	H29計画	H29実績	イベント	3	3	3	学校行事	0	-	0	その他	36	-	31	<p>貸室の利用人数は増加傾向にある。福祉施設や地域住民など、団体利用者に活用され徐々に貸室が周知されていると考えられる。</p> <p>公園ボランティアと協働でイベントを実施するほか、年間を通して園芸等教室を開催し、利用者から好評を得ている。</p> <p>ホームページを活用し、最新の情報提供に努めた。また、公園ボランティアが実施する庭園ガイドは利用者の声を取り入れており、利用促進に貢献している。</p>	<table border="1" data-bbox="1246 510 1449 544"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: red;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>利用者の増加を評価します。さらなる利用者の獲得に努めてください。</p> <p>引き続き積極的な広報に取り組んでください。</p>	A	B	C	D
		H28実績	H29計画	H29実績																																					
貸室	件数(件)	41	40	43																																					
	人数(人)	839	830	960																																					
	稼働率(%)	8.6	8.5	7.1																																					
	H28実績	H29計画	H29実績																																						
イベント	3	3	3																																						
学校行事	0	-	0																																						
その他	36	-	31																																						
A	B	C	D																																						

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ホームページの更新に努め、最新の情報を提供した結果、閲覧数が39,733件(前年比6,609件増)となった。</p> <p>▼平岡樹芸センターの案内マップ、ハザードマップ等を更新し、ホームページで閲覧できるようにしたほか、花期案内マップを作成するなど情報提供を充実させた。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>公式ホームページが新しくなり利用しやすくなったこと、リアルタイムな情報発信に努めたことで閲覧件数が大幅に増加した。10月の紅葉期には15,354件と閲覧数が集中し、利用者のニーズがよく把握できる。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>加情報提供の質向上に努めており、閲覧数が増加していることを評価します。引き続き充実した広報活動に取り組んでください。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
2 自主事業その他							
<p>▽ 自主事業</p> <p>▼収入合計270千円(自主公益収入等145千円、売店収入25千円、その他振替収入24千円、手数料事業収入76千円) 昨年度実績289千円、計画450千円</p> <p>▼みどりーむこども夏まつり 登録ボランティア(三次郎の会)との共催 参加者355人(前年比27人増)</p> <p>▼第9回ひらおか庭園コンサート 登録ボランティア(三次郎の会)との共催 参加者974人(前年比149人増)</p> <p>▼ まちに灯りをinみどりーむ 登録ボランティア(三次郎の会)との共催 参加者91人(前年比85人減)</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼施設消防設備点検、機械警備、交通誘導、館内清掃等についての第三者委託は市内企業に発注した。</p> <p>▼管理事務所に車椅子を配置し、貸し出しを行っている。</p>	<p>昨年度に比べ自主事業収入が減少し、いずれの科目にも課題が残る。園芸講習会の集客方法、売店の販売物見直しなど、改善の余地があるものについては再検討し、積極的に実行に移したい。一方、公園ボランティアと協働で開催しているイベント事業は市民から大変好評を得ており、地域活性化に貢献している。</p> <p>承認済みの委託業務に対し、適正に発注・対応をしている。また、車椅子を必要とする来園者に対し、適した台数の確保と貸出し対応を行い、問題の発生はなかった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>適正に展開されているものと判断します。今後も利用者増加に向けて努めてください。</p> <p>市内企業の活用に努めている点を評価します。</p>	A	B	C	D	
A	B	C	D				

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	<p>期間:4月29日～11月6日</p> <p>講習会などのイベント時にアンケートボックスを設置・収集 回答者 305人</p> <p>満足度は札幌市要求水準の+5%を目標値とした</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園総合満足度の目標値 75% ・接遇満足度の目標値 85%
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合満足度は、満足以上が94%(目標75%以上) ・接遇満足度は、満足以上が87%(目標85%以上)
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのトップページに開園時間と曜日を載せて欲しい。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップページ上段に開園時間等の基本情報を掲載した。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な樹木などに名前や特色を記入してくれるともっとわかりやすいと思う。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹名板の増設を検討する。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(庭園の)寄付をした竹澤氏のこと、ボランティアのことをもっと知らせてください。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期指定期間にて検討する。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度(の講習会)は初級と中級に分けて実際に1本の本を切るように訓練をしてもらいたい。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース分け講習会は検討中だが、一人一本の剪定はまとまったエリアに同じ樹種がそろわないため難しい。 <p>【苦情】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木の健康状態が悪すぎる。百合が原のようにボランティアでも出来ることはある。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育不良木の調査、改善を進めていく。 <p>【苦情】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は池が綺麗で金魚と鯉がいたはずだ。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池の汚れに配慮し、現在金魚や鯉は放していないと回答。

前年度に引き続き公園総合満足度及び接遇満足度の目標を達成することが出来た。特に樹木の維持管理に関する称賛の声を多数いただき、今後の励みになるとともにより一層質の向上を目指したい。

一方で、講習会の内容や開催方法に対する意見・要望は課題が残るため、利用者のニーズ把握に努め改善を図りたい。

今年度要望の多かった日本庭園の池の景観改善をはじめとして、園内清掃をより強化することで美観の維持・向上を心掛けたい。

A	B	C	D

目標値を上回っていることは管理者の努力として評価します。今後とも、さらなる満足度の向上に努めてください。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)			
項目	H29計画	H29決算	差
収入	11,259	11,103	▲ 156
指定管理業務収入	10,809	10,833	24
指定管理費	10,798	10,798	0
利用料金	11	35	24
その他	0	0	0
自主事業収入	450	270	▲ 180
支出	11,259	11,998	739
指定管理業務支出	10,969	11,524	555
自主事業支出	290	474	184
収入-支出	0	▲ 895	▲ 895
利益還元	0	0	0
法人税等	0	3	3
純利益	0	▲ 898	▲ 898

▽ 説明

- ▼利用料金は定期的な貸室の利用があり、計画を24千円上回ることができた。
- ▼自主事業収入は園芸教室の参加人数が減少を続け、計画から180千円の減収となった。
- ▼指定管理業務支出は、冬季管理のための人件費及び光熱水費が係り、555千円の増加となった。
- ▼自主支出は園芸教室の講師諸謝金を計画当初、指定管理費で計上していた為、自主事業費に振り替えたため、184千円の増加となった。
- ▼収支は差し引き898千円の赤字となった。

今年度は貸室の利用料金が計画を上回ったが、昨年度に続き自主事業の講習会参加者が減り、収入が減少した。支出は冬期の維持管理作業に係る人件費及び光熱水費の増加により898千円の赤字となった。

今後は支出の大きい光熱水費の使用分析を行い、節減に努める。

A	B	C	D

概ね適正な運用がなされていると判断します。施設維持管理費の節減に努めていただきたい。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

- ▼当団体の財務状況等は、平成29年度、若干の赤字決算になる見込みではあるが、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。

適	不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
- ▼情報公開請求はなかった。
- ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。
- ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。
- ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。

適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>1. 公式ホームページを大幅改変し、以前に増して閲覧者数が増加した。また、窓口での案内業務やアンケート調査で、地域のみならず遠方からの来園者も見られることから、利用者層の幅が広がっていると実感できている。</p> <p>2. 前年度に引き続き緑化植物園としての機能向上に力を注いだ。ボランティア及び作業スタッフの技術レベルも高まり、緑地の維持管理に貢献している。また、職員の待遇満足度、公園の総合満足度においても昨年に引き続き、目標達成となり、来園者にも概ね満足いただくことができた。継続して、新規来園者の獲得と公園の魅力向上に努めたい。</p> <p>3. 来園者から愛称「みどりーむ」を耳にする機会が増えていることから、周知活動の効果は得られていると感じる。愛称の周知を引き続き継続し、より地域に根ざした公園づくりを目指す必要がある。</p> <p>4. 当公園ボランティアである「樹木会」及び「環境サポーターズ三次郎の会」と連携し、緑地維持管理、景観の向上及びイベント事業を円滑に実施したことで、来園者から好評を得られて、満足のいく結果となった。</p>	<p>1. 愛称「みどりーむ」の周知拡大を継続する。</p> <p>2. 利用者サービスと収益性の向上を図る。</p> <p>3. 緑化植物園としての役割の充実を図る。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>平岡樹芸センターの特徴をよく生かした管理運営がほぼ出来ているものと評価します。引き続き魅力的な情報発信および管理運営にご尽力ください。</p>	<p>上記の所管局評価を参照してください。</p>